当説明書は本体と合わせてご返却下さい。

17.05

Nice Baby（ナイスベビー）
株式会社ベビーリース
〒270-2222 千葉県松戸市高塚新田 158-19
TEL 047-392-1234

pigeon

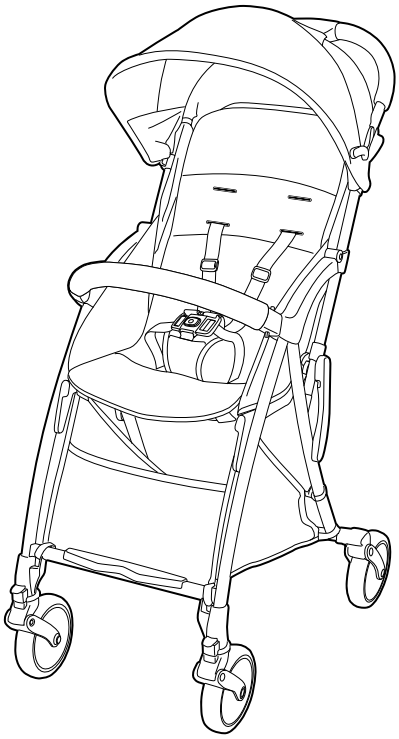
ピジョン

Bingle（ビングル）

B形ベビーカー

取扱説明書

保証書付き



※ 取扱説明書のイラストは、ご使用方法や注意を分かりやすく説明するため、実際の商品とは、形状など異なる場合があります。

もくじ

Point! 特に大切な部分です

はじめに	Point! 最初にご確認ください	2
	対象年齢	2
	望ましい連続使用時間	2
	梱包品の確認	3
	保証書にご記入ください	4
	各部の名称	5
	Point! 安全にお使いいただくために	7
	表記について	7
	安全上の警告	8
	使用上の注意	11
使ってみよう	使い方	12
	ベビーカーの開き方	12
	ベビーカーの折りたたみ方	13
	フロントガードの使い方	14
	ストッパーの使い方	15
	キャスターの使い方	16
	バックル・シートベルトの使い方	18
	シートベルトの長さと位置の調整	20
	リクライニングバックルの使い方	23
	幌の使い方	24
	カゴの使い方	25
長くお使いいただくために	お手入れのしかた	26
	部品の取外し／取付け	26
	縫製品の洗濯	34
	車体の洗浄	35
	保管のしかた	35
	Point! 点検のしかた	36
	注油について	36
こまったときに	廃棄方法について	37
	Point! こんなときは	38
	SG マーク被害者救済制度	39
	アフターサービス	40
	保証書	
	お問合せ先	

●ご使用の前に、本取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
●本取扱説明書は、お読みになった後、大切に保管してください。
●本品を他のお客様にお譲りになる際は、必ず本取扱説明書もあわせてお渡しください。

安全基準B形
（生後 7 ヵ月～ 36 ヵ月まで）

Point!

最初にご確認ください

この製品は、一般家庭でお子様を乗せて、外気浴、買い物などに使用するための一人乗りベビーカー（乳母車）です。

対象年齢

●対象年齢：生後 7 ヵ月以上 36 ヵ月まで

・ここでいう生後 7 ヵ月とは、出生体重が 2.5kg以上かつ、在胎週数 37 週以上を満たし、7 ヵ月を経過したお子様をいいます。
・お子様の発育により個人差があります。使用できるお子様の体重の目安は 15kg以下です。
・お子様の足が車輪や地面に当たるようになった場合は、使用を中止してください。

望ましい連続使用時間

● 1 時間以内

ポイント

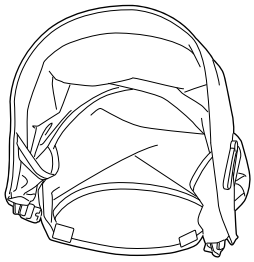
以下のページをお読みいただき、お子様の体格、成長、月齢、または着衣の状況に応じて調整してください。

参照 P.23 使ってみよう＞使い方＞リクライニングバックルの使い方
参照 P.18 使ってみよう＞使い方＞バックル・シートベルトの使い方
参照 P.20 使ってみよう＞使い方＞シートベルトの長さと位置の調整

梱包品の確認

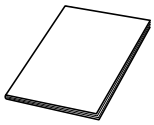
開封後、本体と付属品がすべて揃っていることをご確認ください。

ベビーカー本体



幌

幌はベビーカー本体に取付けられています。



取扱説明書（本書）

付属品

⚠警告

本体および部品を入れてあるポリ袋は、窒息事故を防ぐため、速やかに廃棄してください。

⚠注意

本製品の開封・同梱品の確認作業中は、安全のためお子様を近づけないようにしてください。

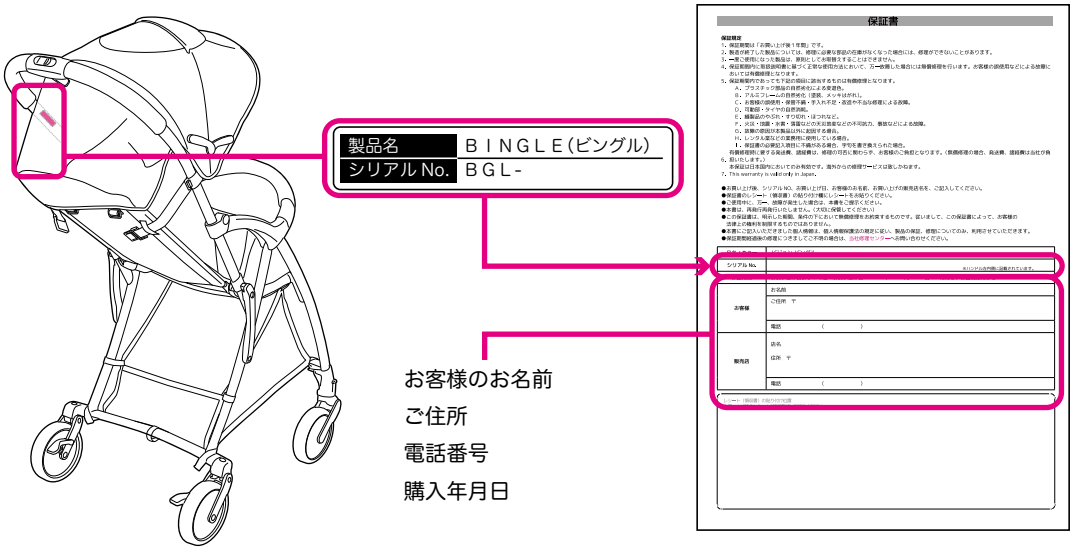
箱から出したときの製品の状態

・幌はベビーカー本体に取付けられています。
・後輪のストッパーレバーはロックしてあります。
・前輪のキャスターロックレバーは外してあります。
・リクライニングの「背もたれ」の位置は起こした状態になっています。
各部の名称は、本取扱説明書「各部の名称」をご参照ください。
実際にご使用になる前に、お子様の月齢、体格に応じてベビーカーを適切な状態に調整してください。

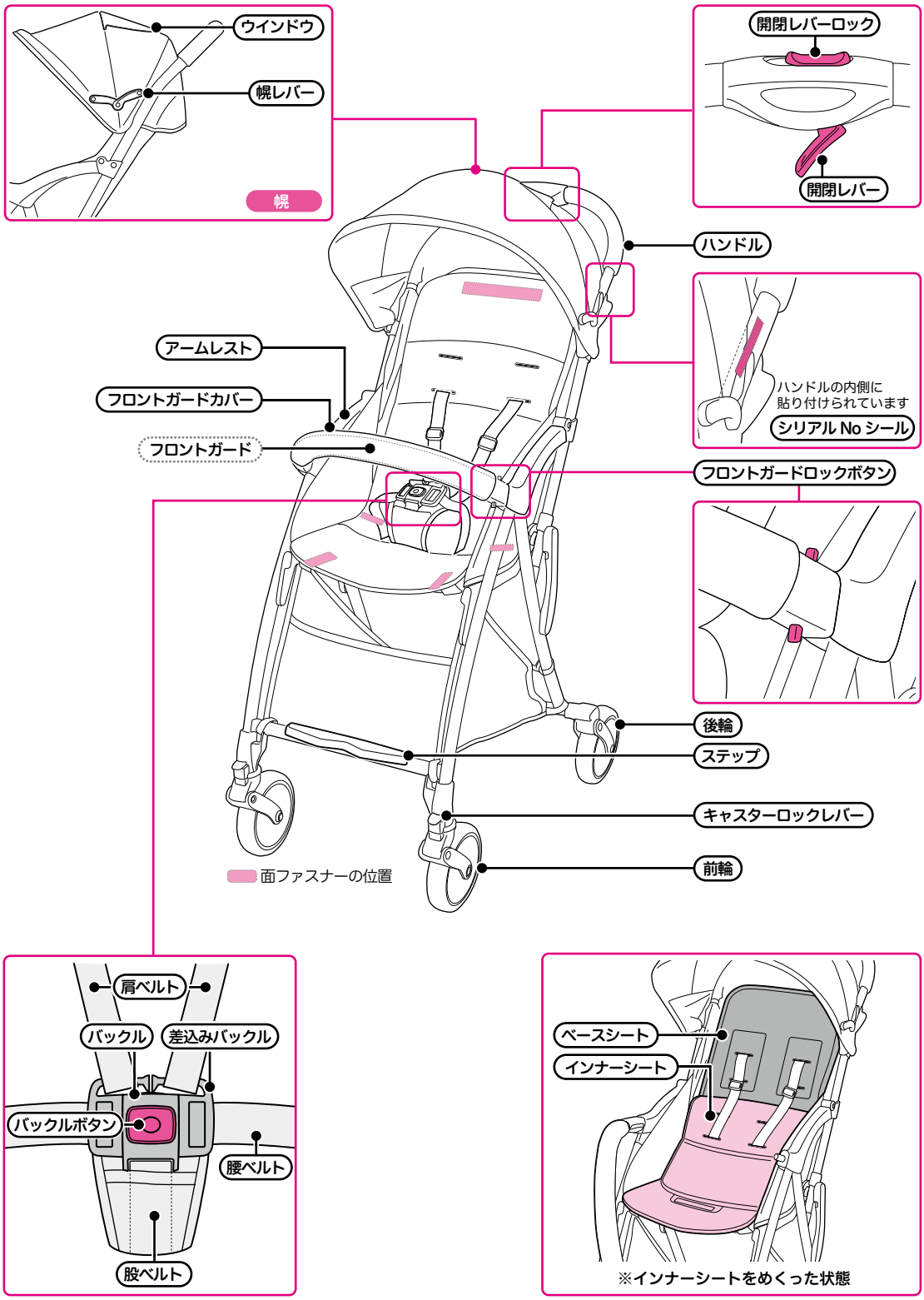
保証書にご記入ください

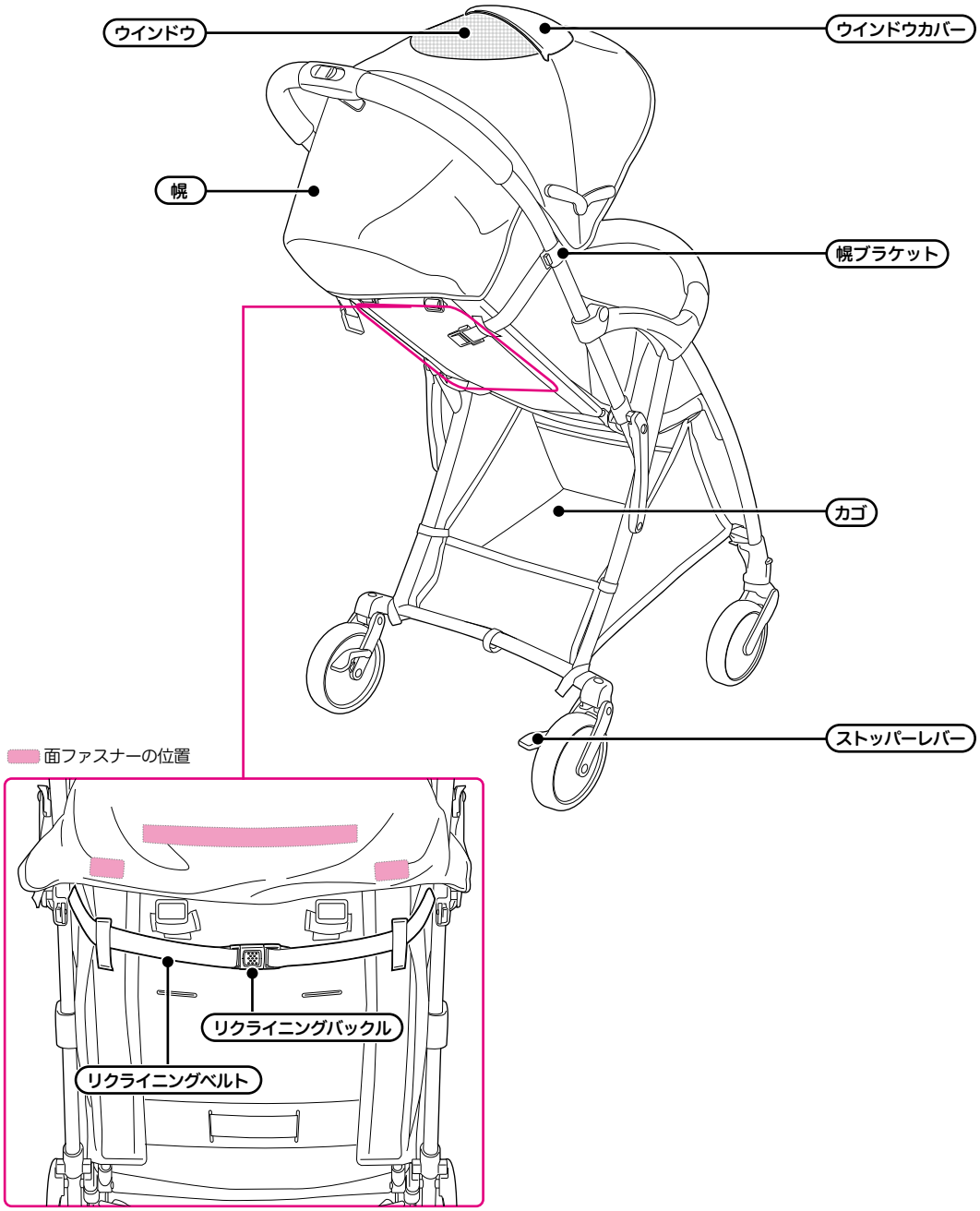
ご購入後、本取扱説明書巻末の「保証書」に次の項目をご記入ください。

- ●製品のカラー
- ●シリアル No（ハンドル左内側に記載）
- ●お客様のお名前・ご住所・電話番号
- ●お買い求めになった販売店名
- ●購入年月日（ご購入時のレシート（領収書）を貼付してください）



各部の名称


ウインドウ
幌レバー
幌
開閉レバーロック
開閉レバー
ハンドル
ハンドルの内側に
貼り付けられています
シリアル No シール
アームレスト
フロントガードカバー
フロントガード
フロントガードロックボタン
後輪
ステップ
キャスターロックレバー
前輪
面ファスナーの位置
肩ベルト
バックル
差込みバックル
バックルボタン
腰ベルト
股ベルト
ベースシート
インナーシート
※インナーシートをめくった状態


ウインドウ
ウインドウカバー
幌
幌ブラケット
カゴ
ストッパーレバー
面ファスナーの位置
リクライニングバックル
リクライニングベルト

Point!

安全にお使いいただくために

表記について

ここでは、本製品を安全に使用する上でご理解いただきたい重要な事柄や、禁止されている使用方法などを記載しています。
記載内容が守られなかった場合は、お子様や使用者の方、および他の人々に重大な損害を及ぼす恐れがあります。本取扱説明書では、取扱いを誤った結果、発生が予想される危害・損害の大きさや切迫度により、項目を［警告］［注意］の２項目に分けて示しています。

表　示	表示の内容
警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性があります。

ご使用の際にお守りいただく内容を下記の表示マークで示しています。

表示マーク	マークの意味
⚠	警告・注意を促す内容があることを示します。
✕	禁止行為を示します。

ポイントの表記

ポイント	本製品を使用するにあたり、知っておいていただきたい大切な事柄および、本製品をより便利に使用していただくための情報です。

参照の表記

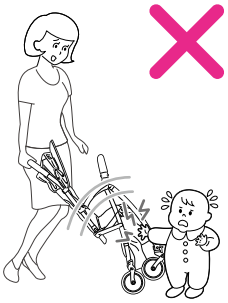
参照	表記されているページ番号や項目名は、説明内容の補足や関連する操作方法、注意事項が記載されている場所を示しています。

安全上の警告

警告 誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

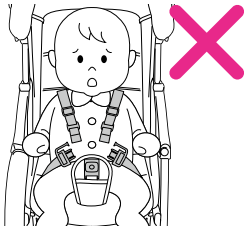
お子様の手や指が挟まれる恐れがあります。
お子様が落下する恐れがあります。

そばにお子様や他の人がいるときにベビーカーの開閉操作やリクライニング操作、幌、フロントガードなどの操作を行わないでください。

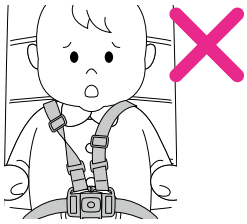


お子様が落下する恐れがあります。
ベルトが首に巻きつきお子様が窒息する恐れがあります。

お子様は座面の正しい位置に座らせ、シートベルト（股ベルト、腰ベルト、肩ベルト）を必ず締めて使用してください。

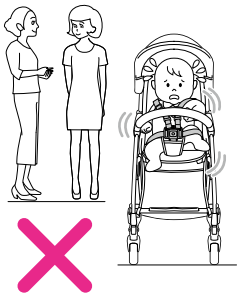


シートベルトは、ゆるみやねじれが無いことを確認してください。
シートベルトを正しく調整し、確実に取付けてください。肩ベルトが長すぎる状態で使用した場合に、首に巻きついたりする恐れがあります。



お子様をベビーカーの中で立たせないでください。

お子様は思わぬ動作をしますので、シートベルト（股ベルト、腰ベルト、肩ベルト）を締めていてもお子様からは目を離さず、抜け出しや立ち上がりには十分注意してください。

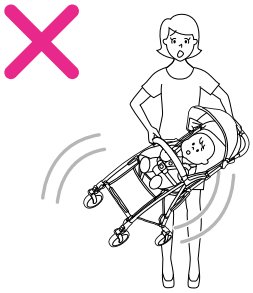


⚠警告 誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

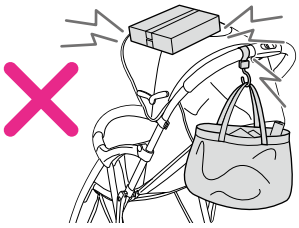
ベビーカーの転倒や折りたたみによりお子様が落下する恐れがあります。
ベビーカーが破損して、お子様が落下する恐れがあります。

破損、異常が発生した場合は、直ちに使用を中止してください。
そのまま使用せず、本取扱説明書裏表紙に記載の修理センターにご連絡ください。

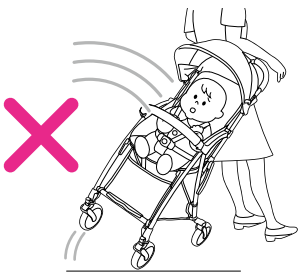
お子様を乗せたままベビーカーを持ち上げないでください。



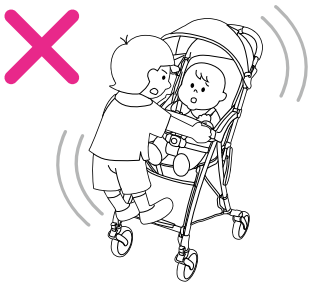
カゴ以外の所に荷物を載せたり、ハンドル部に荷物をつるさないでください。



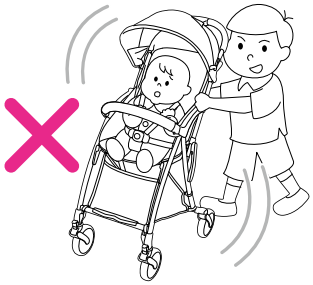
ベビーカーに寄りかかったり、大人が座るなど、過度の荷重をかけないでください。



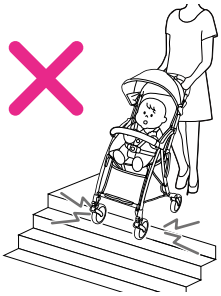
二人以上のお子様を乗せないでください。
お子様を座面以外のところに乗せないでください。



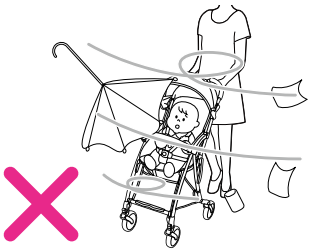
お子様にベビーカーを操作させないでください。



階段・エスカレーターなどでは使用しないでください。
砂場・砂浜・河原・砂利道・山道・ぬかるみ・雪道・水たまりでは使用しないでください。



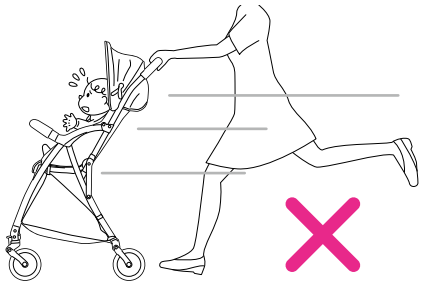
風の強いとき、雷のときなど悪天候のときは使用しないでください。使用者も危害を受ける恐れがあります。



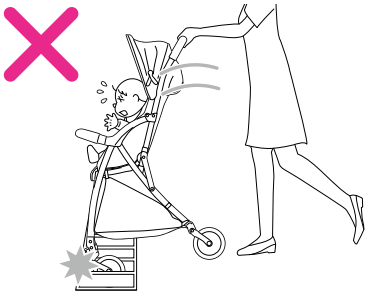
⚠警告 誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

ベビーカーの転倒や折りたたみによりお子様が落下する恐れがあります。
ベビーカーが破損して、お子様が落下する恐れがあります。

ベビーカーはゆっくり歩いて押してください。走ると車輪が揺れて転倒する恐れやお子様に悪影響を与える恐れがあります。

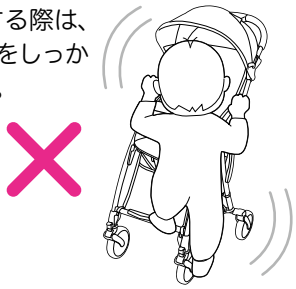


排水溝の蓋(グレーチング)の上や踏切などの走行は、車輪が挟まったりして転倒などの恐れがあります。走行する際には路面の状態を十分確認してください。



車輪が溝に挟まったときには、挟まった車輪の脚パイプとハンドルを持って、車輪を引き抜いてください。その際、お子様が落下しないように十分注意してください。

お子様が乗り降りする際は、ベビーカーやお子様をしっかりと支えてください。

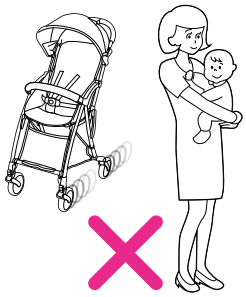


ベビーカーが動き出したり、転倒することによりお子様が落下する恐れがあります。

ストッパーは、構造上、いかなる状態でもベビーカーを静止させることのできるものではありません。ストッパーをかけていても動き出す恐れがあります。ストッパーを過信しないでください。

お子様や荷物を乗せたままベビーカーから離れないでください。ストッパーをかけた状態でも離れないでください。

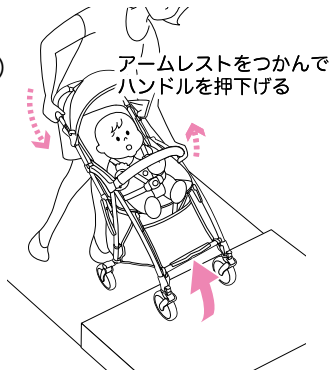
お子様を乗せていない状態でも必ずストッパーをかけてください。
空車であっても、坂の途中や車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。



使用上の注意

⚠注意 誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性があります。

1. ご使用の前に、日常点検を行ってください。点検する項目は、「点検のしかた」（P.36）を参照してください。
2. お子様を乗せる以外の目的で使用しないでください。目的以外の使用は破損・故障・ケガなどにつながる恐れがあります。
3. ベビーカー本体には、お子様や荷物を乗せることを目的としたボードなどは取付けないでください。ベビーカーの破損の原因となります。
4. フロントガードを持って振り回したり、必要以上に曲げたり、外した状態で使用しないでください。
5. ベビーカーを折りたたむ前に、必ず幌を背もたれ側にたたんでください。幌を開いたままベビーカーを折りたたむと、幌がハンドルに当たり、幌が変形する恐れがあります。
6. 前輪を持ち上げたままの状態で走行しないでください。過度の荷重がベビーカーに加わり、破損・故障の恐れがあります。
7. 段差に突き当たった場合は、無理に押して乗り越えようとせず一旦止まり、必ず前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。（右図）前輪を浮かさず無理に段差を乗り越えようとすると前輪に衝撃が加わり、転倒・破損・故障の原因になります。



8. 炎天下では直射日光や路面からの熱によりベビーカー内の温度が上昇しますのでご注意ください。高温注意情報・熱中症注意報などの発表時は、外出を控えてください。
9. 冬季はベビーカー内の温度も下がります。お子様が寒くないよう保温を行ってください。
10. ご自身で、ベビーカーを分解、改造、修理しないでください。修理が必要な場合は、本取扱説明書裏面に記載の修理センターへご連絡ください。
11. ベビーカーは、バス・電車などの乗り物内での使用を目的として設計されていません。
    バスの中ではベビーカーを開いて使用しないでください。
    お客様の責任により、電車の中で使用するときは、必ずストッパーを掛けて、十分に注意してご使用ください。カーブや急ブレーキなどで転倒する恐れがあります。電車をご利用の際は、無理な乗り降りはしないでください。ベビーカーがドアに挟まれてケガをする場合があります。また、ホームと電車の段差、隙間には十分注意して乗降してください。駅のホームには傾斜があります。ベビーカーから手を離さないでください。
12. 本取扱説明書の説明で本製品の操作がうまくできないときは、「こんなときは」P.38 を参照してください。

使い方

ここでは、本製品の基本的な使用方法を説明しています。

ポイント ベビーカーの操作は周囲の安全を確認した上で行ってください。操作の内容によっては、ベビーカーが動くと行いにくい場合があります。その場合は、ストッパーをかけてから行ってください。

参照 P.15 使ってみよう＞使い方＞ストッパーの使い方

ベビーカーの開き方

警告

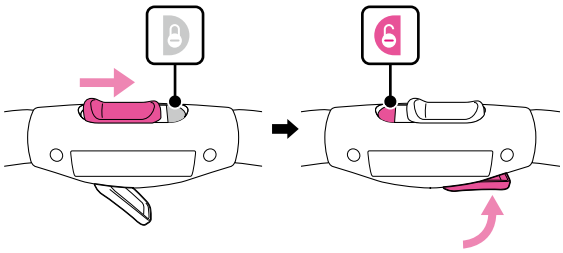
ベビーカーを開くときは、そばに人（特に小さいお子様）を近づけないで行ってください。指や手を挟んだりする恐れがあります。

注意

- ハンドルを持ち上げて、車体を浮かせた場合は開くことができません。
- 開閉レバーが固い場合は、背もたれと座面の間に股ベルトが挟まれている場合があります。股ベルトを引出してください。
- ベビーカーの使用中は、開閉レバーロックがロックされていることを確認してください。
- 開閉レバーロックがロック状態のまま開閉レバーを握らないでください。

01

タイヤが接地した状態でベビーカーの後ろに立ち、
①開閉レバーロックを横にスライドさせて解除して、
②開閉レバーを握ります



①開閉レバーロックを解除　②開閉レバーを握る

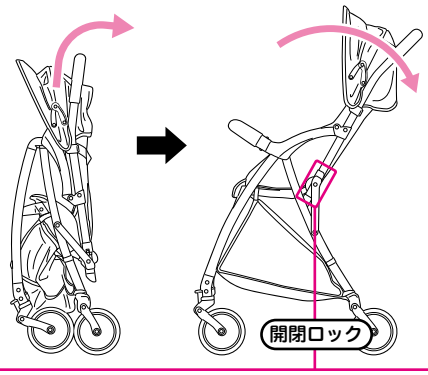
※図はハンドル後方から見たものです。

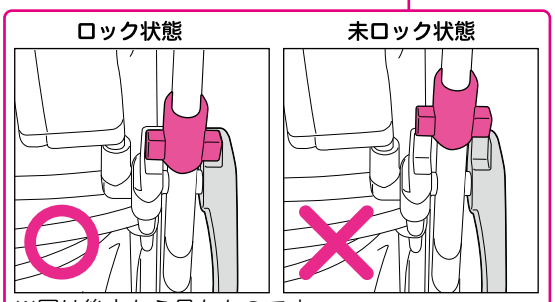
02

開閉レバーを握ったまま、ハンドルグリップを持ち上げ後ろに引きます。

03

ベビーカーが完全に開いたら、開閉レバーから手を離し、左右の開閉ロックが完全にかかっていることを確認します。

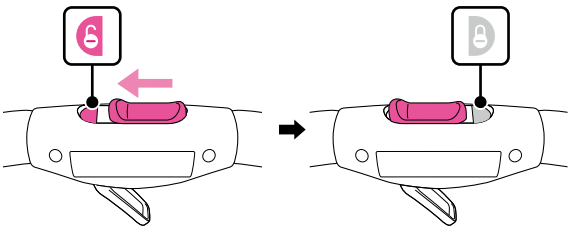




※図は後方から見たものです。

04
ハンドルを持って、前後輪を交互に持ち上げ、ベビーカーが折りたたまれないことを確認します。

05
開閉レバーロックを横にスライドさせてロック状態にします。



ロック解除状態　　ロック状態

※図はハンドル後方から見たものです。

ベビーカーの折りたたみ方

⚠警告

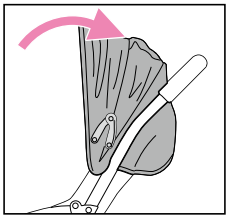
ベビーカーを閉じるときは、そばに人（特に小さいお子様）を近づけないで行ってください。指や手を挟んだりする恐れがあります。

⚠注意

●折りたたむときに、引っかかりや挟み込みなどを感じたら、折りたたむのをいったん止めて、荷物や玩具、シートベルトなどが引っかかっていないかを確認してください。無理に折りたたむと故障の恐れがあります。

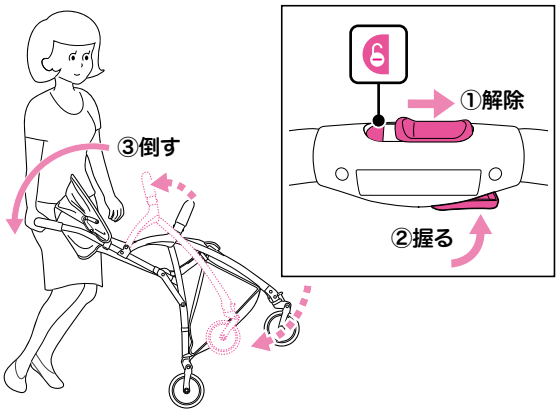
●ベビーカーを折りたたむ前に、必ず幌を背もたれ側にたたんでください。幌を開いたまま、ベビーカーを折りたたむと、幌がフロントガードに引っ掛かり、幌が変形する恐れがあります。また、ベビーカーが開けなくなる恐れがあります。

参照　P.24　使ってみよう＞使い方＞幌の使い方



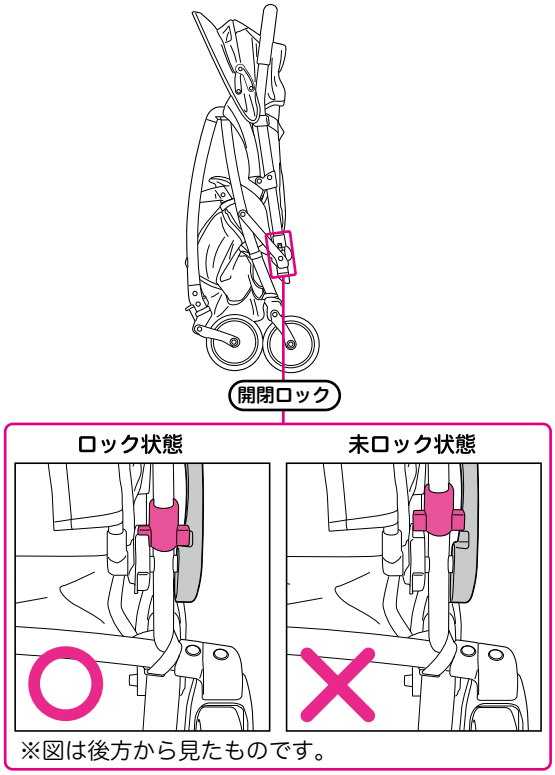
●ベビーカーを折りたたむときには、座面シートの左右両端がアームレストやハンドルに挟み込まれないように注意してください。

01
ベビーカーの後ろに立ち、
①開閉レバーロックを横にスライドさせて解除して、
②開閉レバーを握り、
③そのまま、後タイヤを支点にして車体を後ろに傾けます（矢印の方向に倒す）。



02

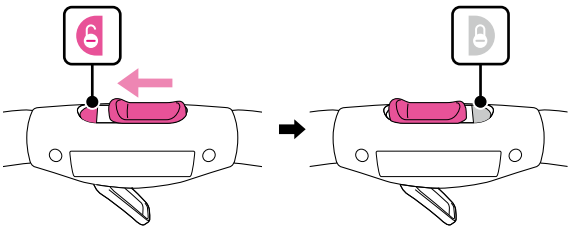
開閉レバーから手を離し、左右の開閉ロックが完全にかかっていることを確認します。



※図は後方から見たものです。

03

開閉レバーロックを横にスライドさせてロック状態にします。



ロック解除状態　　ロック状態

※図はハンドル後方から見たものです。

フロントガードの使い方

⚠警告

- フロントガードを引っ張って使用したり、振り回さないでください。破損やケガの恐れがあります。
- フロントガードに過度の力を加えたり、必要以上に曲げたり、過度の衝撃を与えないでください。
- お子様の乗せ降ろしはフロントガードの片側を開いて行ってください。手足や服などが引っかかり、ベビーカーが転倒したり、お子様が落下する恐れがあります。
- お子様を乗せ降ろしするときは、必ず事前に平坦な路面でストッパーをロックしてから行ってください。ロックしないと、操作中にベビーカーが動き出したり、転倒することによりお子様が落下したりする恐れがあります。また、第三者に危害を加える恐れがあります。
- フロントガードはお子様の立上がりやズレ落ち、抜け出しを防ぐものではありません。お子様を乗せる際には必ずシートベルトを締めてください。
- フロントガードロックボタンはお子様に操作させないでください。フロントガードが急に外れることがあります。
- フロントガードを持ってベビーカーを持ち運ばないでください。フロントガードの破損、またはフロントガードが抜け落ちる恐れがあります。
- フロントガードカバーはガードロックボタンに掛からない位置で取付けてください。フロントガードカバーがボタンに掛かるとフロントガードが急に外れる恐れがあります。

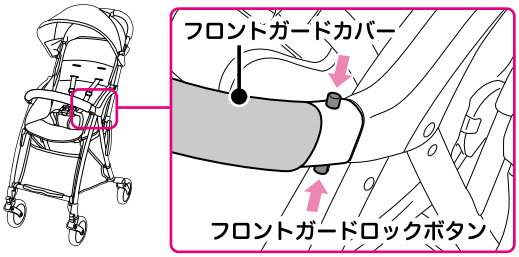
⚠注意

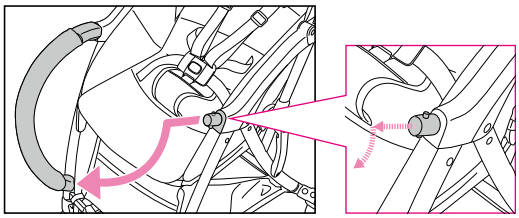
●ベビーカーをご使用の際はフロントガードカバーを必ず付けてください。
●フロントガードは正面右側のみ開きます。

フロントガードを開く

01

正面から見てフロントガードの、右側上下２つのフロントガードロックボタンを同時に押し込んだまま、手前に引き開きます。

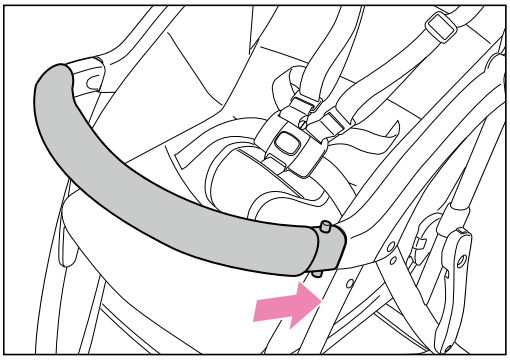




フロントガードを閉じる

01

フロントガードをアームレストの突起に合わせ、押し込みます。



02

フロントガードを軽く引っ張って、ロックが外れないことを確認してください。

ストッパーの使い方

⚠警告

●ベビーカーの各部の操作は、必ず事前に平坦な路面でストッパーをロックしてから行ってください。ロックしないと、操作中にベビーカーが動き出したり、転倒することによりお子様が落下する恐れがあります。また、第三者に危害を加える恐れがあります。
●ストッパーは、構造上、いかなる状態でもベビーカーを静止させることができるものではありません。ストッパーをかけていても動き出す恐れがあります。
●お子様や荷物の有無に関わらず、ストッパーを過信せず、常にベビーカーから離れないでください。
●ストッパーは、両輪ともにかけてください。片輪のみでは、ベビーカーが動き出したり、転倒したりする恐れがあります。

⚠注意

ストッパーをかけた状態で、無理に動かしたり、体重をかけて寄りかかるような行為は破損、転倒の恐れがあります。

ロックを解除する

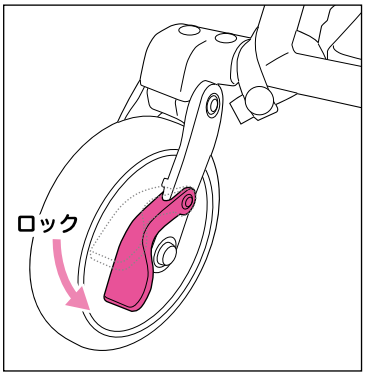
ポイント　ご購入時には、ストッパーがロックされています。

01
ストッパーは、左右の後輪に装備されています。ストッパーレバーを引き上げて、ロックを解除します。
左右両方とも解除してください。

左右両方の後輪をロック解除してください

ロックをかける

01
ストッパーレバーを押下げて、ロックします。左右両方ともロックしてください。



左右両方の後輪をロックしてください

02
ベビーカーを軽く前後に動かしてストッパーのロックがかかっていることを確認します。

キャスターの使い方

平坦な道路では、キャスターロックを解除すると前輪の向きが変わるので、方向転換がスムーズにできます。
キャスターロックすると前輪が直進方向に固定されます。ベビーカーを直進方向に安定させる必要がある場合は、キャスターをロックして使用してください。
キャスターは左右の前輪に装備されています。キャスターロックレバーを操作して、解除またはロックします。キャスターレバーは常に左右とも同じ状態（解除またはロック）になるようにしてください。

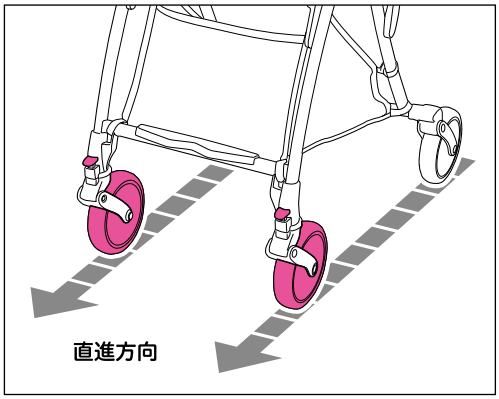
⚠警告

荒れた路面を走行する場合は、キャスターロックが解除されていると、凸凹の影響で車輪が取られ、キャスターが振れて直進が困難になることがあります。
このようなときは、キャスターロックすると走行しやすくなる場合があります。
ただし、キャスターロックしても走行が困難な場合は、車体が転倒する恐れがありますので、走行しないでください。

キャスターロックのしかた

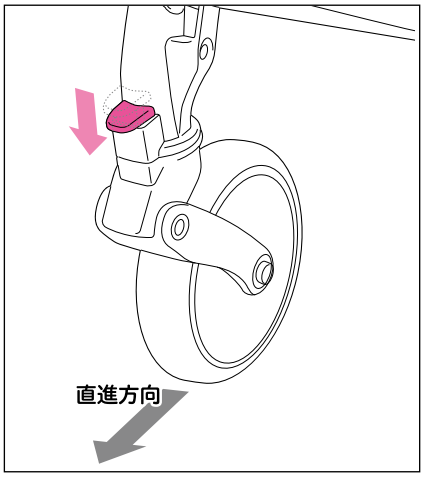
ポイント　ご購入時はキャスターロックレバーは外してあります。

01
左右の前輪を直進方向に向けます。



ポイント　前輪が直進方向に向いていないと、キャスターロックレバーは操作できません。

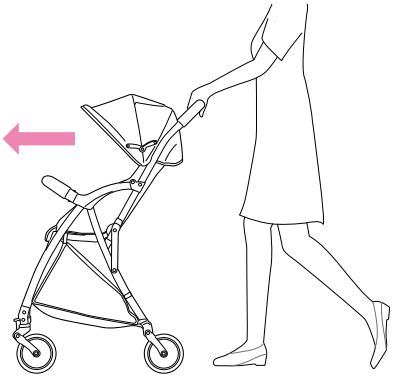
02
キャスターロックレバーを下げてキャスターをロックすると、前輪が直進方向で固定されます。
左右とも同じようにしてください。



注意

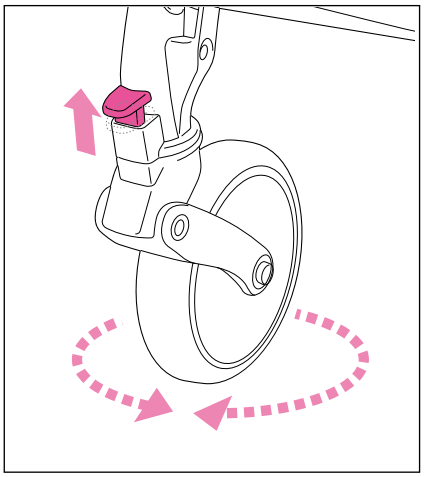
キャスターロックレバーが下がらない場合は、無理に下げようとせず、前輪が直進方向に向いているかを確認してください。前輪が直進方向を向いていないと、キャスターロックレバーを下げる事ができません。無理に下げようとすると、キャスターや車輪が破損する恐れがあります。

03
左右ともキャスターがロックされ、直進方向に固定されていることを確認してください。

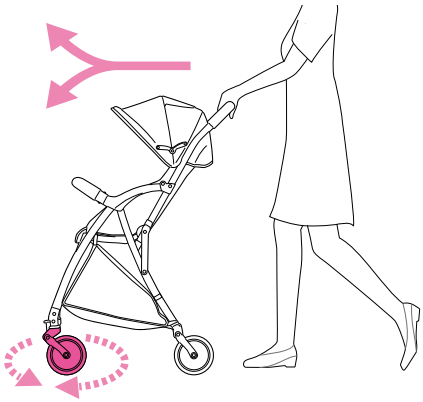


キャスターロックの解除のしかた

01
キャスターロックレバーを完全に上げてキャスターロックを解除します。左右とも同じようにしてください。



02
左右ともキャスターロックが解除されてスムースに方向転換できることを確認してください。



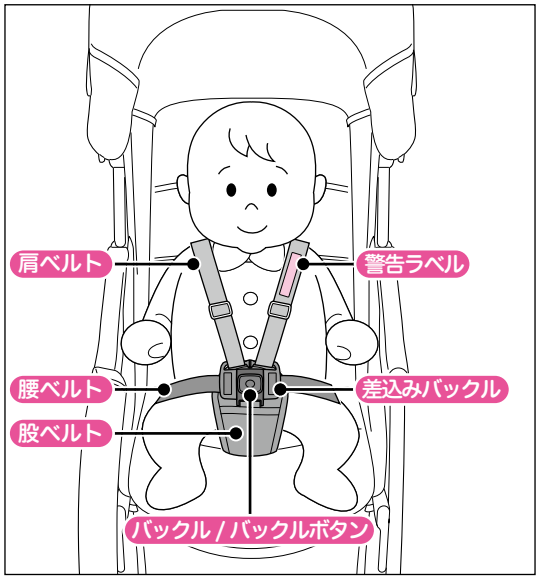
バックル・シートベルトの使い方

肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを合わせてシートベルトと呼びます。
ご購入時は、肩ベルトは下段に取付けてあります。シートベルトは、お子様の体型に合わせて長さを調整してください。

⚠警告

- ●シートベルトの取付け、取外しは、本取扱説明書の指示に従ってください。誤った操作をすると、ベルトがバックルから抜けるなどして、お子様が落下する恐れがあります。
- ●お子様を乗せたりおろしたりするときは、必ず事前に平坦な路面でストッパーをロックしてから行ってください。
- ●お子様を乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。バックルを差込まなかったり、シートベルトの締めかたが不完全だったりすると、お子様が落下する恐れがあります。
- ●肩ベルトは左右を交差させないでください。お子様の首を圧迫する恐れがあります。
- ●シートベルトはお子様の体に合わせて調整を行い、締めすぎやねじれ、ゆるみがないように締めてください。
- ●シートベルトを締めていても、お子様の抜け出しや、立上がりには十分に注意してください。
- ●シートベルトはいかなる場合でも抜け出しや立上がりを防止できるものではありません。常に目を離さないようにご注意ください。
- ●バックルボタンやベルトをお子様が操作しないように注意してください。
- ●洗濯などでシートベルトを取外した場合は、本取扱説明書に従って正しく取付けてください。取付け方が不完全な場合、使用中にベルトやバックルが抜ける恐れがあります。取付け後に引っ張って抜けないことを確認してください。

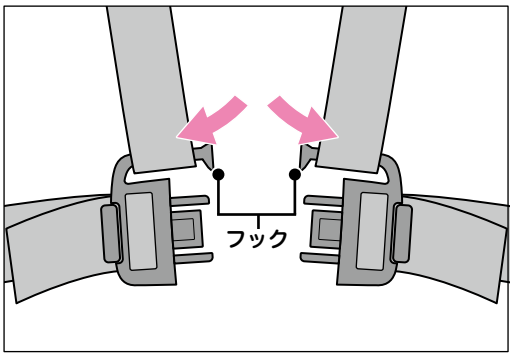
各部の名称



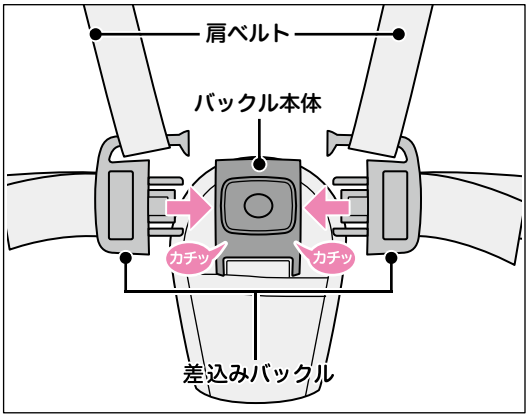
シートベルトの締め方

01
お子様の股の間から股ベルトを通します。

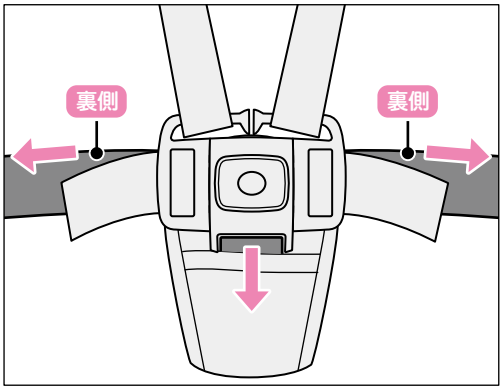
02
肩ベルトを差込みバックルのフックに取付けます。



03
左右の差込みバックルをバックル本体にしっかり差込みます。



04
腰ベルト裏側、股ベルトを引っ張って、バックルが外れないことを確認します。



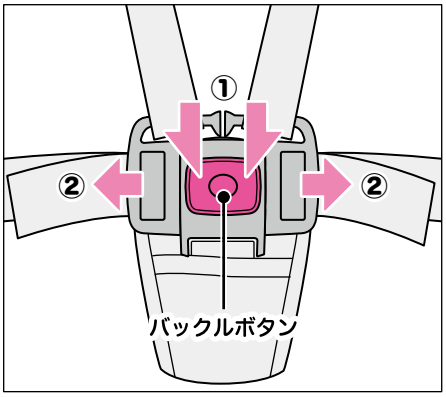
⚠ 注意

お子様が乗っていない場合でも、バックルを留めておいてください。シートベルトやバックルが、折りたたむ際や走行中に挟まり、ベビーカーが開閉できなくなったり、破損したりする恐れがあります。

シートベルトを外す

01

①バックルボタンを押し、
②差込みバックルを外します。



ポイント

バックルボタンは中央部ではなく、差込みバックルを外す側を押してください。中央部を押した場合は、左右の差込みバックルが外れない場合があります。

お子様が誤って外さないよう、バックルボタンの操作は硬めになっています。

シートベルトの長さと位置の調整

お子様は思わぬ動作をしますので、シートベルト（腰ベルト、肩ベルト）を締めていてもお子様の抜け出しや立上がりには目を離さず、十分注意してください。
ご購入時には、肩ベルトの位置を下段に取付けてあります。
このベビーカーは、肩ベルトの位置を下段・上段の２段階に変更できます。お子様の落下事故はお子様の動きが活発になる生後７ヵ月頃から１才未満の頃に発生しやすいので、必ずお子様の成長に合わせて、位置を変更してください。

⚠警告

シートベルトの調整は下記の手順に従ってください。誤った調整を行うと、ベルトやバックルが抜け、お子様が落下する恐れがあります。

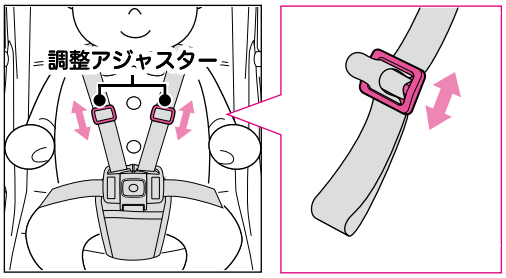
長さの調整

お子様の成長や着衣の状態に合わせて調整してください。
リクライニングの角度の調整、各ベルトの調整により、シートベルトの長さに多少の影響が出ます。これらの場合にはシートベルトの長さをこまめに調整してください。

肩ベルトの長さの調整

01

調整アジャスターの位置を移動して、長さを調整します。左右の肩ベルトが同じ長さになるように調整してください。

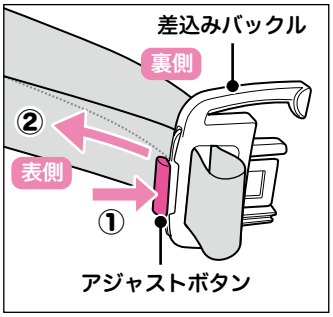


腰ベルトの長さの調整

腰ベルトは、バックルとお子様のお腹の間に大人の指が１本入る程度の隙間で調整してください。
差込みバックルの位置を移動して、長さを調整します。

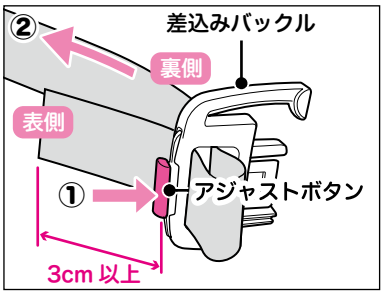
締め方

①差込みバックルのアジャストボタンを押しながら、
②表側にある腰ベルトを、矢印の方向に引っ張り、締めすぎないように調整します。
アジャストボタンから手を離すと、調整した長さで固定されます。



ゆるめ方

①差込みバックルのアジャストボタンを押しながら、
②裏側にある腰ベルトを、矢印の方向に引いて調整します。
アジャストボタンから手を離すと、調整した長さで固定されます。



⚠ 注意

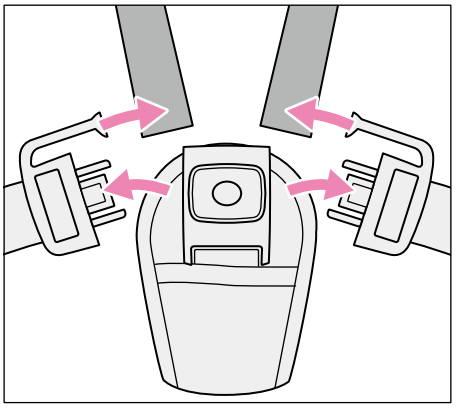
差込みバックルから腰ベルトが抜ける恐れがあります。表側の腰ベルトが 3cm 以上になるように調整してください。

肩ベルトの高さの調整

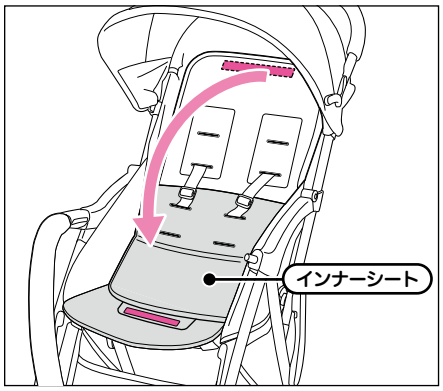
肩ベルトの高さの調整は、肩ベルトを一回ベースシートの裏側に抜きとってから行います。
ご購入時には、下段に取付けてあります。
お子様の成長に合わせて、上段に調整します。

ポイント
図は、下段⇒上段への調整方法となります。上段⇒下段へ調整する場合も基本的には同じ方法で行えます。

01
あらかじめバックルを外し、差込みバックルから肩ベルトを外しておきます。

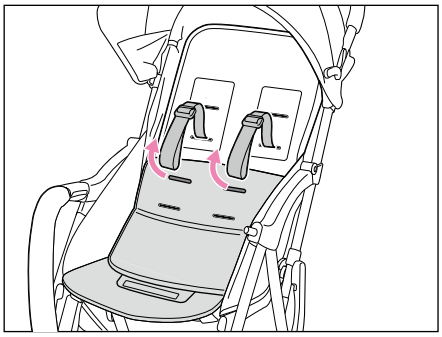


02
シートの背もたれ上端の面ファスナーを外し、インナーシートを前方にめくります。

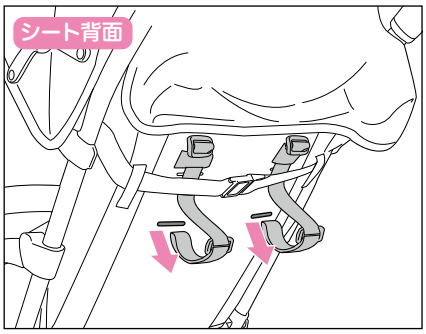


ポイント
図では、わかりやすくするためにフロントガードを外していますが、フロントガードを付けたままでも操作することができます。

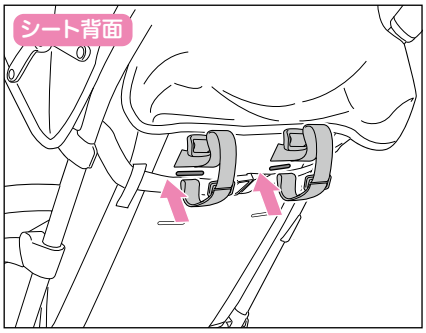
03
インナーシートから肩ベルトを抜きます。



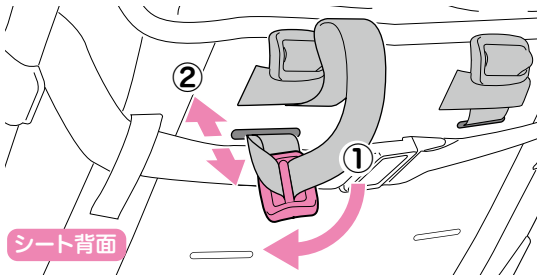
04
ベースシートから肩ベルトを抜きます。



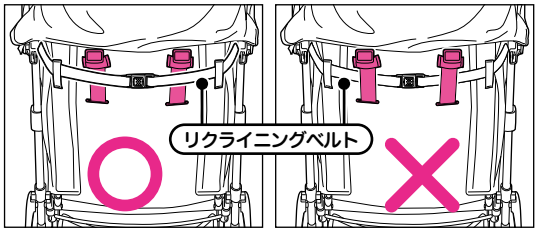
05
上段の肩ベルトの通し穴に肩ベルトを通します。



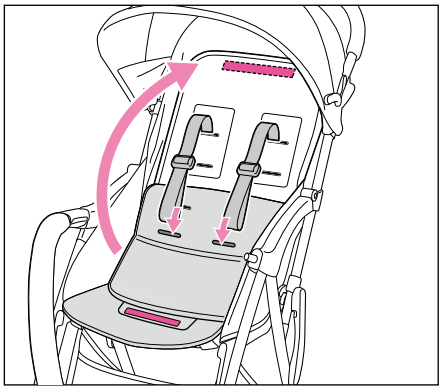
ポイント
肩ベルトを、通し穴に通すときは、①肩ベルトについているバックルを縦に回転させてから②通すようにしてください。



⚠注意
上段⇒下段に調節する際に、肩ベルトは必ず、リクライニングベルトの下側を通してください。

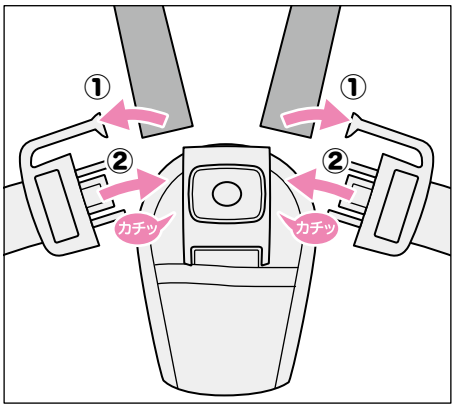


06
インナーシートの上段のベルト通し穴に、肩ベルトを通します。
インナーシート上部の面ファスナーをベースシートに留めます。



07
肩ベルトを前方に引っ張り、正しく固定されていることを確認します。

08
①差込みバックルに肩ベルトを通して、
②バックルを留めます。



リクライニングバックルの使い方

本製品では、シートの背もたれを倒したり、起こしたりして使用することができます。お子様の様子に合わせ、調整して使用してください。
シートの背もたれの調整は、リクライニングバックルで行います。

⚠警告

- お子様を座らせたままリクライニングバックルの操作をする場合、操作をする前に必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。
- ベビーカーを押しながらリクライニングバックルの操作をしないでください。バランスを崩す恐れがあります。

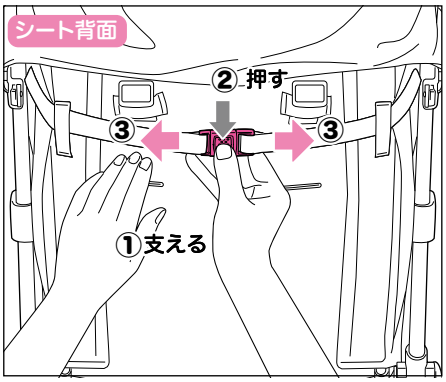
⚠注意

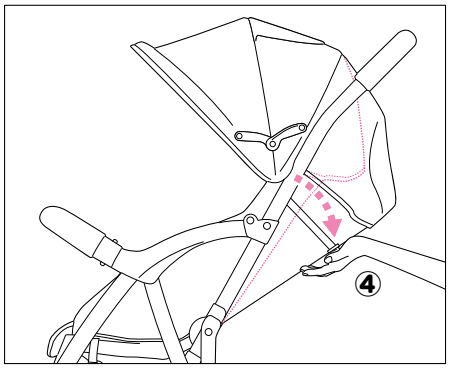
- お子様を座面に座らせたまま、背もたれを倒す操作をするときは、角度が急に変わらないように、お子様の体重を手で支えながら行ってください。
- 体重が背もたれにかかった状態で、無理に背もたれを起こさないでください。故障の原因になります。
- お子様を座らせた際に、お子様の頭頂部がシート上端より上にくる場合はシートを倒して使用しないでください。バランスを崩して転倒し、お子様が落下する恐れがあります。

背もたれを倒す

01
お子様を乗せたままのときは、肩ベルトをゆるめます。

02
①片手で背もたれを支えながら、
②リクライニングバックル中央を押して、
③バックルを解除します。
④片手でサポートしながら、ゆっくりと最後まで背もたれを倒してください。





背もたれを起こす

⚠注意

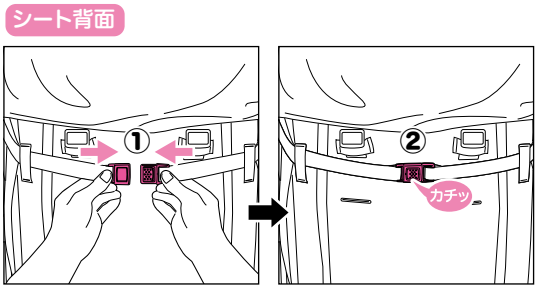
この操作は、安全のため、お子様が背もたれによりかかっているときは行わないでください。

01

背もたれにお子様の体重がよりかかっていない事を確認します。

02

①リクライニングバックルを引き寄せて、
②カチッとなるまでバックルを差込みます。



03

左右のリクライニングベルトを外側に引いてもリクライニングバックルが外れないことを確認します。

幌の使い方

⚠警告

ベビーカーをご使用になるときは、幌を必ず取付けてください。

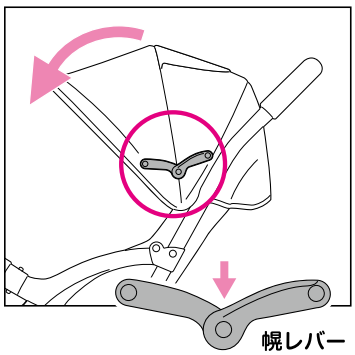
⚠注意

●ベビーカーを折りたたむ前に、必ず幌を折りたたんでください。
　開いたまま無理に折りたたむと、幌が破損する恐れがあります。
●幌の上に荷物を置いたり、荷重を掛けたりしないでください。

幌を開く

01

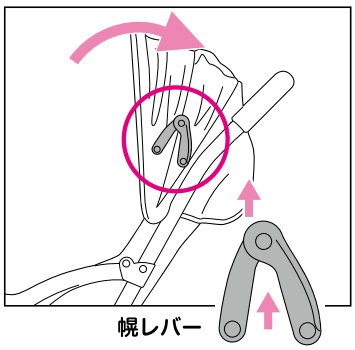
左右にある幌レバーの中央部を押下げ、幌を前に広げて開きます。



幌を閉じる

01

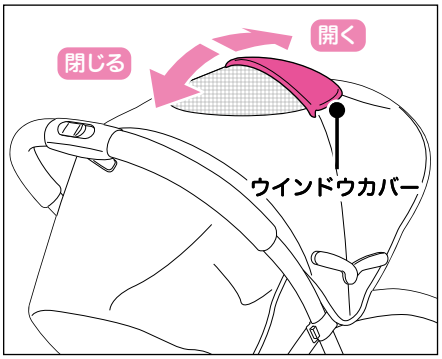
幌レバーの中央部を押上げ、幌を後側にまとめて閉じます。



ウインドウの開閉

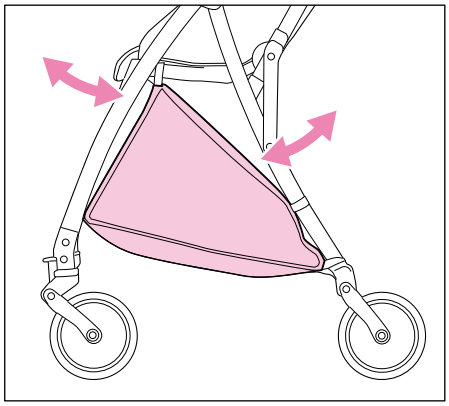
01

幌上部のウインドウカバーをめくり、ウインドウを開閉します。



カゴの使い方

カゴには、お子様の荷物や、買い物の荷物などを入れておく事ができます。前からも、後ろからも荷物の出し入れが可能です。
カゴは、ベビーカーを開いた状態で使用します。ベビーカーを折りたたむ際には、必ずカゴの中の荷物をすべて取り出してください。



⚠警告

- 5kg以上の荷物は載せないでください。カゴが破損する恐れがあります。また、ベビーカーがバランスを崩して転倒し、お子様が落下する恐れがあります。
- 割れ物、ビン類は入れないでください。走行中の衝撃などで破損する恐れがあります。
- 角のとがったものやカゴからはみ出すものは入れないでください。カゴの変形、破れの原因になります。
- カゴの底に均等に荷重が加わるように荷物を載せてください。

お手入れのしかた

ベビーカーをより長く、常に快適で清潔に使用するためには、こまめにお手入れしてください。

⚠警告

- 取外した部品は、そのまま放置しないでください。お子様が誤飲する、かぶるなどをして窒息する恐れなどがあります。
- 取外した部品を取付ける際は、本取扱説明書をよくお読みいただき、正しく取付けてください。
- インナーシート・フロントガードカバー・シートベルト・幌を取外した状態でベビーカーを使用しないでください。すべて正しく取付けなおして使用してください。

⚠注意

部品の取付け、取外しを行う際は、ケガをしないように注意してください。

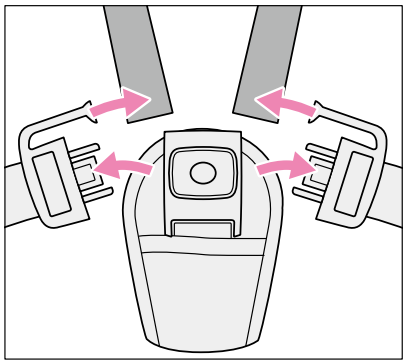
部品の取外し／取付け

インナーシート

取外し方／取付け方

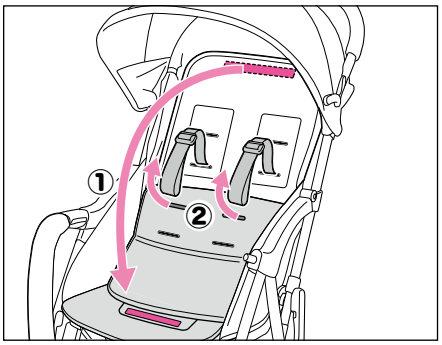
01

あらかじめバックルを外し、差込みバックルから肩ベルトを外しておきます。



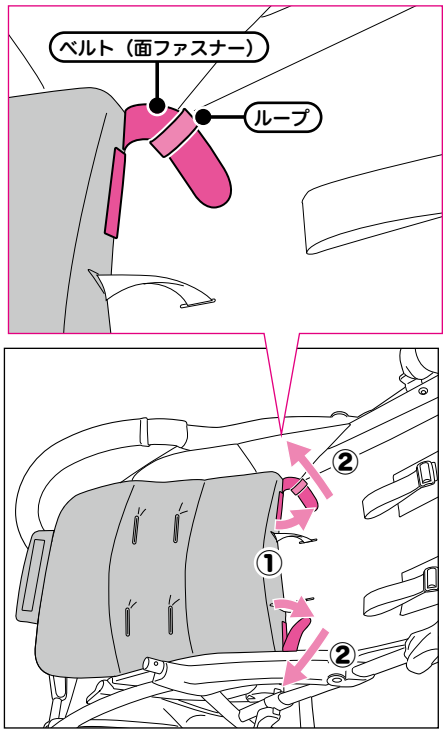
02

①シートの背もたれ上端の面ファスナーを外し、インナーシートを前方にめくり、
②肩ベルトを抜きます。

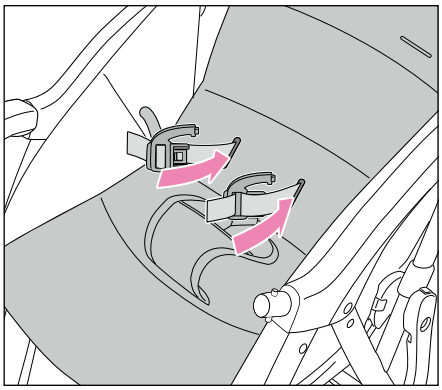


03

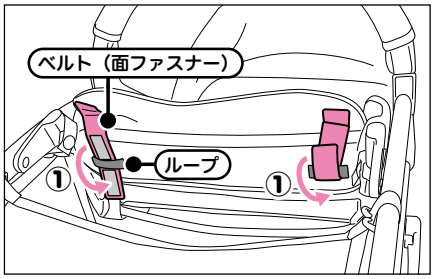
①インナーシート腰部のベルトの面ファスナーを外して、
②ベースシートのループから抜き取ります。
左右とも同じようにします。



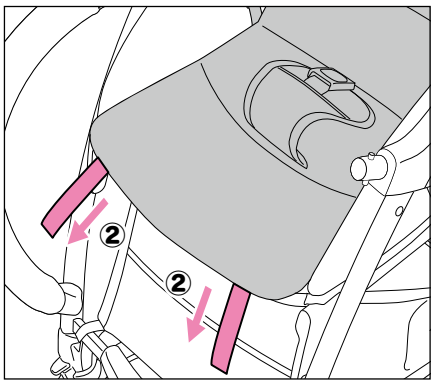
04
インナーシートから、腰ベルトを引き抜きます。



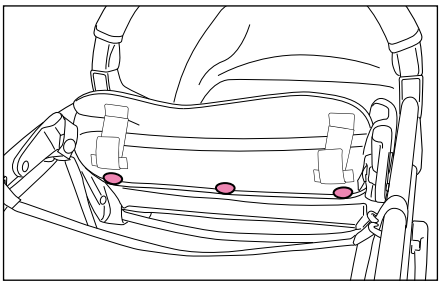
05
①インナーシート前端の裏側にあるループに留められているベルト(2ヵ所)の面ファスナーを外し、
②ベルトをループから抜きます。



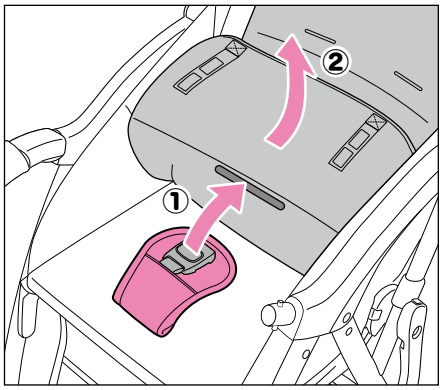
※上図はシート先端の裏側から見たものです。



ポイント ループの奥側にある3ヵ所のホックボタンは外さないでください。



06
①インナーシートをめくり、股ベルトを開口部から抜きます。
②インナーシートを取外します。



07
取外しと逆の手順で取付けてください。

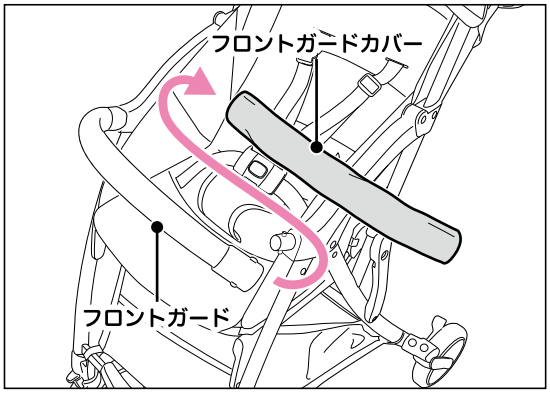
フロントガードカバー

取外し方／取付け方

01
フロントガードを開きます。

参照 P.14 使ってみよう＞使い方＞フロントガードの使い方

02
フロントガードカバーをフロントガードから引き抜きます。



注意

- フロントガードカバーは、きつめに差込まれています。ケガや破損に注意して作業してください。
- ベビーカーをご使用の際は、必ずフロントガードカバーを取付けてください。

03
取外しと逆の手順で取付けてください。

シートベルト

取外し方

注意

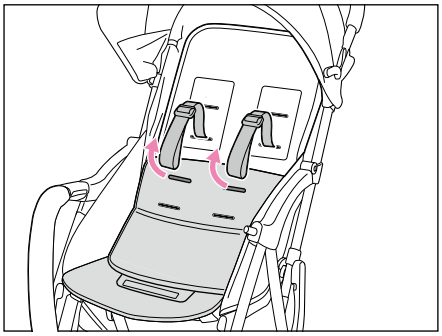
股ベルト（股ベルトパッド・受けバックル）は取外すことができません。

ポイント
日常的なお手入れにおいては、シートベルトを取外す必要はありません。

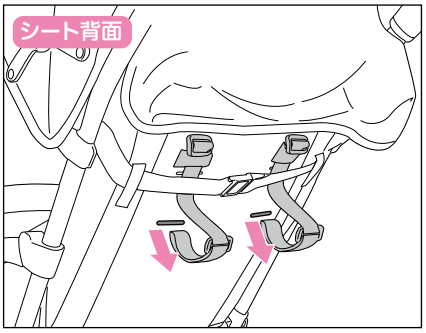
肩ベルトの取外し

01
以下を参照して、インナーシートをめくり、肩ベルトを左右とも抜いておきます。

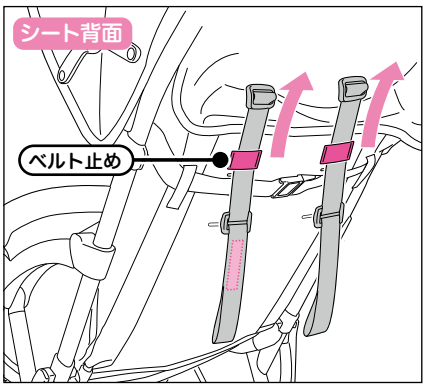
参照 P.21 使ってみよう＞使い方＞シートベルトの長さと位置の調整＞肩ベルトの高さの調整



02
ベースシートから肩ベルトを抜きます。

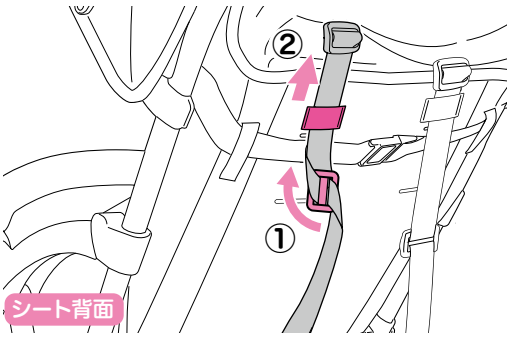


03
ベルト止めから肩ベルトを抜き取ります。



※肩ベルトは実際より短く表記しています。

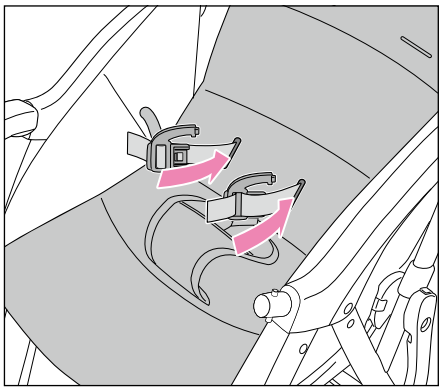
ポイント 肩ベルトを、ベルト止めに通すときは、①肩ベルトについているバックルを縦に回転させてから②通すようにしてください。



腰ベルトの取外し

04

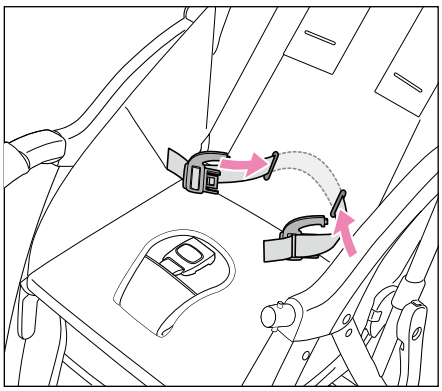
インナーシートの通し穴から腰ベルトを抜いておきます。



05

インナーシートをめくり、ベースシートの穴を通して裏側に引き抜きます。

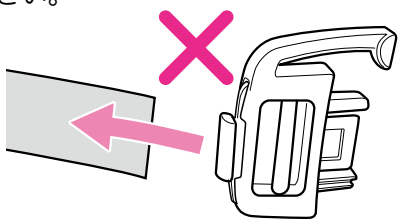
参照 P.26 長くお使いいただくために＞お手入れのしかた＞部品の取外し／取付け＞インナーシート



※腰ベルトは実際より短く表記しています。

注意

差込みバックルから腰ベルトを抜かないでください。

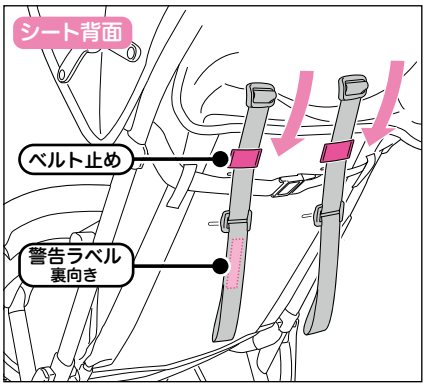


取付け方

肩ベルトの取付け

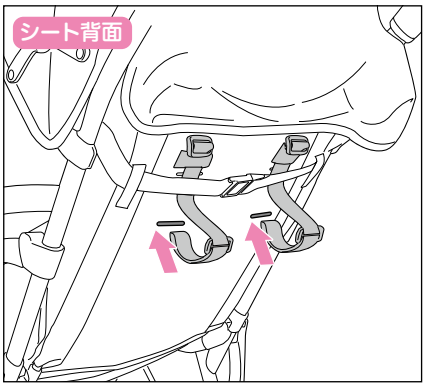
01

取外しと逆の手順で取付けてください。
肩ベルトには、左右、前後があります。
警告ラベルのある肩ベルトを、警告ラベルを裏側にして、シート裏側から見て左側のベルト止めに通します。



02

ベースシート背面のベルト通し穴から肩ベルトを差し入れます。
使用する高さの通し穴（下段または上段）に差し入れてください。

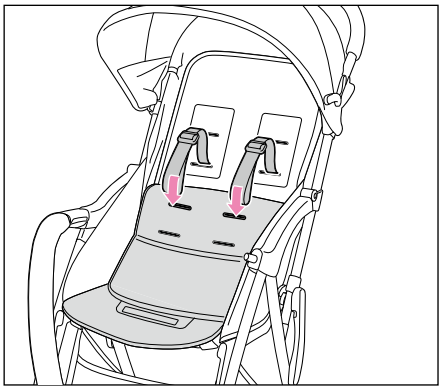


注意

肩ベルトの高さは、お子様の成長に合わせて適切に調整してください。

03

インナーシートの通し穴に、肩ベルトを通します。ベースシートと同じ高さの通し穴（下段または上段）に通してください。



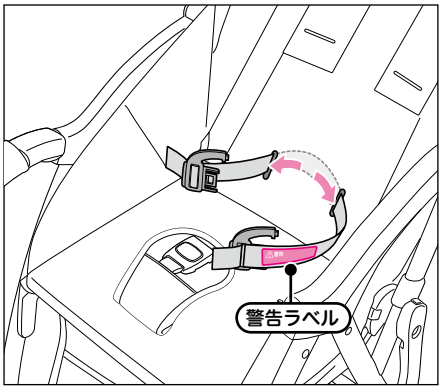
ポイント

同時に腰ベルトを取付ける場合は、先に腰ベルトを取付けてから肩ベルトを通し穴に通してください。

腰ベルトの取付け

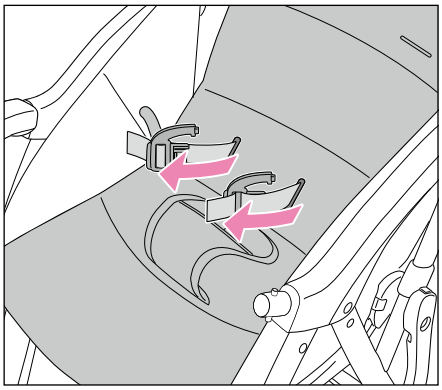
01

ベースシートの裏から腰ベルトを差し入れます。腰ベルトには表裏があります。バックルの向きと、**警告ラベルの向きを確認してください。**下図を参照して正しい向きで差し入れてください。



02

インナーシートに腰ベルトを通します。



03

インナーシートをベースシートに取付け、バックルを留めておきます。

参照 P.26　長くお使いいただくために＞お手入れのしかた＞部品の取外し／取付け＞インナーシート

幌

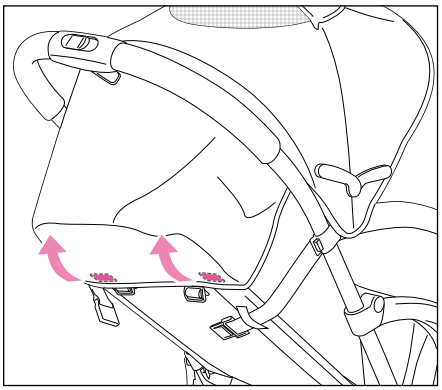
取外し方

⚠注意

- 幌ブラケットは、固めに挟み込まれています。抜き取る際にケガをしないよう注意してください。
- 左右両方の幌ブラケットを抜いてから、幌を取外してください。片側のみ抜いて幌を取外そうとすると、破損する恐れがあります。

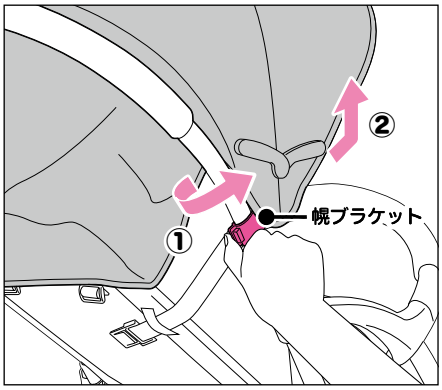
01

幌の後方にある、シートの背もたれと幌を固定している面ファスナー（左右２ヵ所）を外します。



02

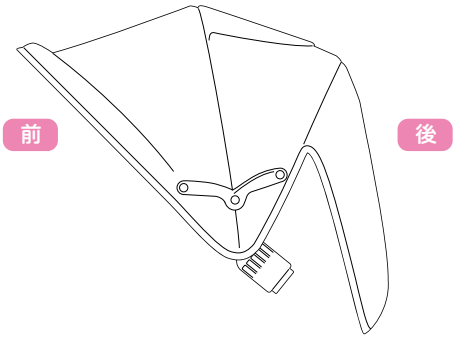
幌は、左右の幌ブラケットで、フレーム突起部を挟み込んで固定しています。
①左右をひねり、
②幌本体を上方に引き上げます。



取付け方

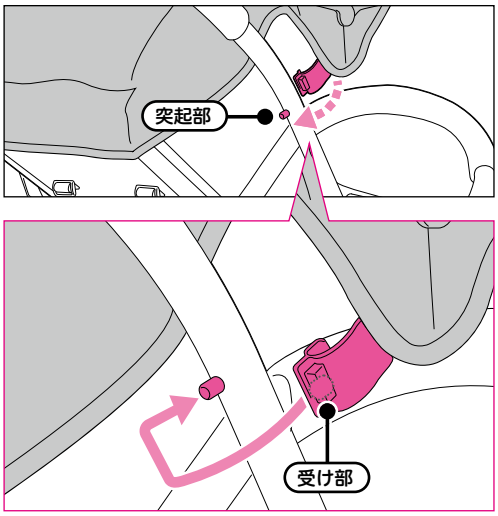
01

幌の前後を確認します。



02

ハンドルフレームにある、幌ブラケット取付用の突起部に、幌ブラケットの受け部を合わせて、幌ブラケットをフレームに固定します。左右とも同じようにしてください。

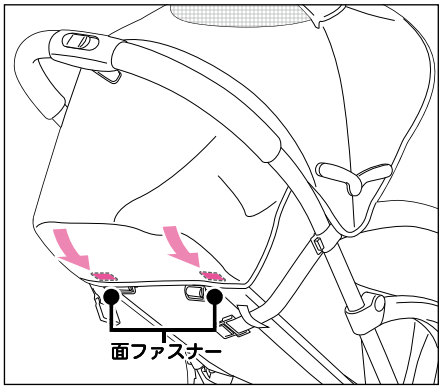


⚠注意

幌ブラケットは操作が固めに設定されています。指を挟まないように注意してください。

03

幌の後方にある面ファスナーを、シートの背もたれに留めて固定します。



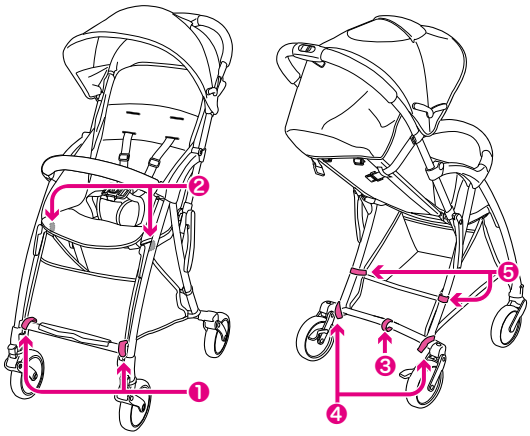
カゴ

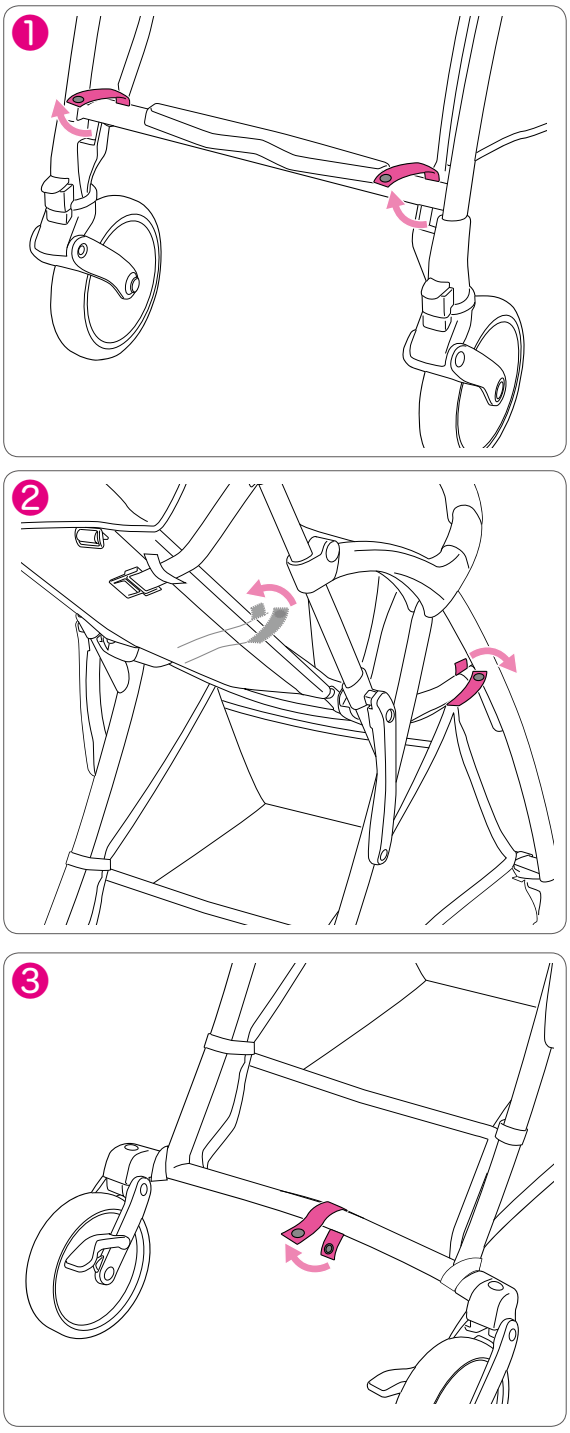
取外し方／取付け方

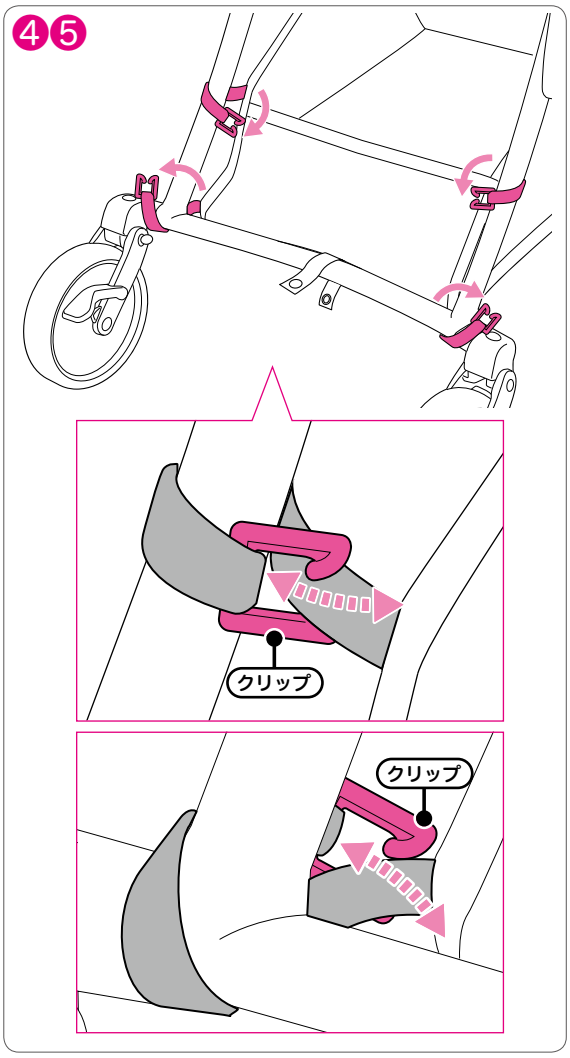
01

カゴを取付けているホックとクリップを外して、カゴを取外します。

❶❷❸　ホック
❹　❺　クリップ







02

取外しと逆の手順で取付けてください。

縫製品の洗濯

快適にお使いいただくだめに、汚れたら洗濯・洗浄してください。

⚠注意

●部品の取外しを行う際は、シートの取付け部、ガードの差込口、幌の取付け部などでケガをしないように注意してください。
●製品の特性上、ご使用によっては若干色落ち・色あせすることがあります。
●蛍光増白剤や漂白剤が入っている洗剤の使用は避けてください。事前に洗剤の注意書きを読んでお使いください。
●漂白剤を使用しないでください。
●タンブル乾燥機はお使いいただけません。
●乾燥が不十分な場合、臭いやカビが発生する恐れがあります。
●アイロンはお使いいただけません。
●商業クリーニング（ドライクリーニングやウェットクリーニング）はできません。

水洗いによるお手入れ

・インナーシート
・フロントガードカバー

●手洗いの場合、衣類用の中性洗剤をぬるま湯に溶かし、やさしく手洗いしてください。

●洗濯機を使用するときは、洗濯用ネットに入れて、衣類用の中性洗剤を使用して、液温 30℃以下の弱水流または手洗いモードで洗濯してください。

●脱水後はすみやかに取り出し、形を整えて日陰に平干ししてください。

⚠注意

●汚れた状態で保管するとカビが発生することがあります。こまめに洗濯をして清潔に保つように心がけてください。
●面ファスナーは留めて洗ってください。
●洗濯を繰り返すと小さなシワが発生したり、クッションが多少薄くなる場合がありますが、使用上の問題はありません。

拭取りによるお手入れ

・幌
・ベースシート*
・股ベルト / 肩ベルト / 腰ベルト
・カゴ

＊ベースシートは、インナーシートを取外した本製品の座席部分を指します。

●ぬるま湯に衣類用の中性洗剤を溶かした洗浄液を、ブラシやスポンジなどにつけて、汚れを拭取ってください。

●洗剤を使用して汚れをとったあとは、水を含ませた布やスポンジで、洗剤成分が残らないように数回拭取ってください。

●乾かすときは、乾いた布で水分を拭取り、陰干ししてください。

⚠注意

●洗濯機はご使用できません。
●拭取りの際は、面ファスナーや部品でケガをしないように注意してください。

車体の洗浄

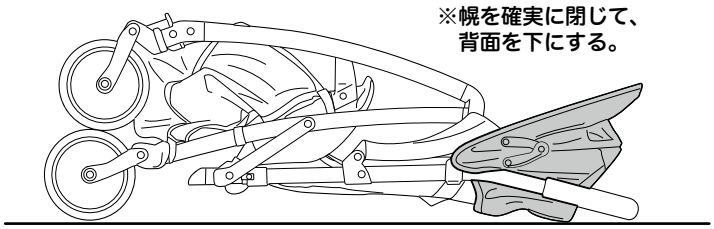
使用前に、タイヤやフレームについた泥、ホコリなどはよく絞った濡れタオルなどを使ってきれいに拭取ってください。

⚠注意

- 定期的に清掃を行ってください。車体に泥やホコリなどがついたままで使用しないでください。
- 洗剤やウェットシートにはプラスチックに影響を及ぼす成分が含まれているものがあり、変色したり、破損する恐れがあります。

保管のしかた

ベビーカーの保管は折りたたんで、立てて保管してください。
やむを得ず、車内などで、寝かせて保管する場合は、幌を確実に閉じた状態で、図のように背面を下にしてください。



幌が壁面に当たらないように保管してください。
ベビーカーの上に、荷物を置いたり、圧力がかかる状態で保管しないでください。

⚠注意

- 火の近くや高温になる場所、日光が常に当たりつづける場所、雨や水のかかる場所、湿気の多い場所での放置・保管は行わないでください。故障・変形・カビ発生の原因となります。
- 夏季の車中には保管しないでください。
- やむなく屋外で保管する場合はカバーをお掛けください。

点検のしかた

結合部分のゆるみ、部品の欠損および動作不良などの異常がないか適時点検してください。

日常的な点検項目

①開閉操作を行い、異常の有無を確認する。
②製品の外観を見て、部品・リベットの緩み、飛び出し、外れがないか確認する。
　車体が変形したり、パイプの曲がりや損傷がないことを確認する。
　プラスチック部品や金属部品のひび割れや変形がなことを確認する。
③ストッパーレバーを操作して、車輪が回らないことを確認する。
④バックルに腰ベルト、肩ベルトを通してあることを確認する。
　バックルがロックすることを、ロック・解除の操作をして確認する。
⑤ベルトやシートに破れ、ほつれ、切れがないことを確認する。
⑥各部の操作を行い、異常がないことを確認する。
⑦タイヤが摩耗により薄くなっていないか、車輪が緩んでいないかを確認する。
⑧走行時に異常がないかを確認する。

⚠警告

- ご自身で、製品の改造や分解、修理を行わないでください。
- 点検により異常を確認した場合は、ただちに使用を中止して修理センターに修理を依頼してください（修理センターの連絡先は、本取扱説明書の裏表紙に記載してあります）。
- バックルに異常が生じたときは、そのまま使用しないでください。
- タイヤが摩耗により薄くなったときは、交換してください。（車輪は消耗品ですので交換が必要です。交換は修理センターで有償で行います。）
- 長期間ご使用されなかった場合は、使用開始前に必ず上記点検を実施してください。

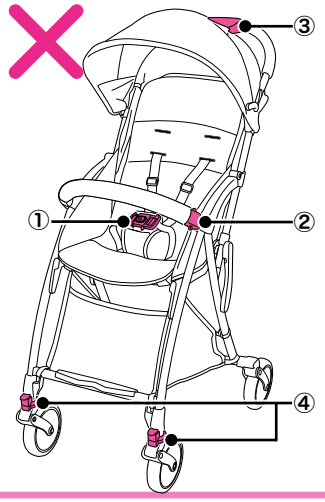
注油について

きしみなどの異音が発生したり、動作が滑らかでなくなったりした場合は、市販の潤滑油（シリコーン系）を少量（１カ所２～３滴）注油してください。注油量が多すぎると、ホコリが付着して逆に機能を低下させる恐れがあります。

⚠警告

下記の場所には注油しないでください。動作不良を起こす恐れや、バックルやフロントガードが不意に外れて、お子様が落下する恐れがあります。

①シートベルトのバックル
②フロントガードの取付け部
③開閉レバー部
④キャスター回転部

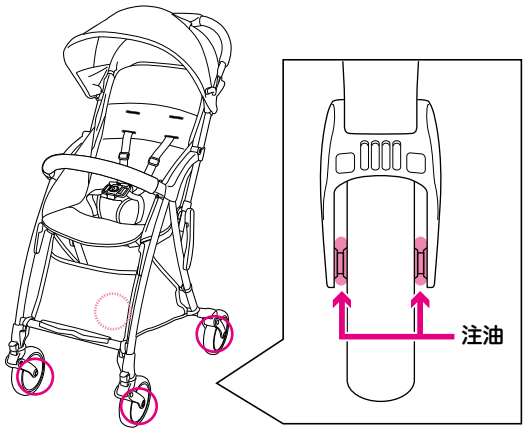


⚠注意

●お子様が触れたりなめたりする恐れのある縫製品やフロントガード、アームレストには油がつかないように注意してください。万一ついてしまった場合は、油をしっかり拭取ってから使用してください。

●樹脂やゴムを侵食する恐れがありますので、グリースや機械油、石油系溶剤（有機溶剤）を含む潤滑油は使用しないでください。「シリコーン系」と明記された潤滑油のみ使用できます。

走行時に異音が発生した場合は、下図の場所に注油してください。



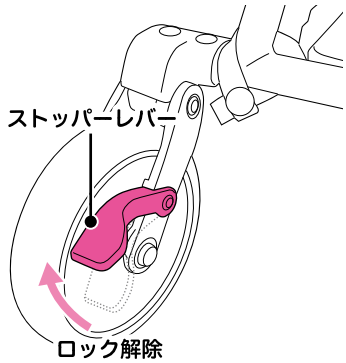
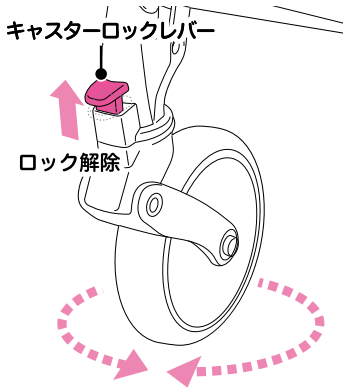
廃棄方法について

お住まいの各自治体の廃棄方法に従って処分してください。
環境保護のため、適正な廃棄をせずに放置することはおやめください。

Point!

こんなときは

本取扱説明書の説明で本製品の操作が出来ない場合には、下記の対処方法をご確認の上操作してみてください。それでも解決できない場合は、修理センターまでご連絡をお願いいたします。

操作ができない	内　容	対処方法
ベビーカーがたためない	開閉ロックにベルトなどが挟まれている場合があります。	挟まっているベルトなどを引出してください。
ベビーカーが開かない	幌が開いた状態では、ベビーカーを開くことができません。	幌をたたんでから開いてください。
	開閉レバーロックがロック状態のままでは、開閉レバーの操作ができません。	開閉レバーロックのロックを解除してください。
車輪が回らない	ストッパーのロックを解除しないと車輪は回りません。 製品を箱から取り出したときにはロックがかかった状態です。	後輪左右のストッパーのロックを解除してください。 
キャスターが動かない	製品を取り出したときにはキャスターのロックがかかった状態です。	前輪左右のキャスターのロックを解除してください。 
バックルが留まらない	バックル（股ベルトのバックルと腰ベルトの差込みバックル）が留められない。	バックルを固定しづらい場合は、お菓子や飲み物などの異物が入っている可能性があります。バックルに異常を感じた場合は、使用を中止して、修理センターへご連絡いただき、点検修理を受けてください。

SG マーク被害者救済制度

SG マーク被害者救済制度は、SG マーク付き製品の欠陥により発生した人身事故に対する賠償制度です。
ただし、お買上げ日より 4 年以内に限ります。

●賠償についてのご注意

認定したベビーカーそのものが故障したとしても、その品質について保証するというものではありません。傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。

●製品の欠陥により事故が起きた場合には

製品の欠陥により事故が起きた場合には、下記の［事故の届出に必要な項目］を、事故が発生した日から 60 日以内に、協会または協会が指定する所に届けてください。

製品安全協会
〒 110-0012 東京都台東区竜泉 2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪 2F
TEL 03（5808）3300

［事故の届出に必要な項目］

① 事故の原因となったベビーカーの現品
　イ）製品の名称
　ロ）製品の購入先、購入年月日

② 事故発生の状況
　イ）事故発生年月日
　ロ）事故発生場所
　ハ）事故発生状況

③ 被害の状況
　イ）被害者の氏名、年齢、性別、職業、住所
　ロ）被害の状況と程度

アフターサービス

以下の場合には、ただちにご使用を中止し、製品名、シリアル番号（ハンドル左内側に記載）をご確認の上、当社修理センターまでご連絡ください。
そのまま使用しますと、重大な事故につながる恐れがあります。

・ご使用中に故障などが発生した場合
・点検中に破損などを発見した場合
・部品の交換、修理の必要が生じた場合
・その他異常を感じた場合

無償保証期間を終了した場合の修理、部品販売については、有償にて承ります。
修理必要部品の在庫がなくなった場合には、修理できないことがあります。
また、部品の色・柄などについてはご希望に添えない場合があります。

本製品は、標準的なご使用での設計上の耐用年数を 5 年間としています。
ご購入後、5 年間を経過した製品については、ご使用を中止してください。
また、5 年以内のご使用の場合でも、使用頻度、使用環境、保管条件によりましては、万が一故障を起こす場合があり、5 年間の品質を保証するものではありません。

● 製品の修理、部品の購入などに関するお問合せ
〒 300-0315 茨城県稲敷郡阿見町香澄の里 36-3
ピジョン株式会社 修理センター
TEL 029（889）5707
受付時間 9 時～ 12 時、13 時～ 16 時 30 分（土・日・祝日を除く）

MEMO

MEMO

保証書

保証規定

1. 保証期間は「お買上げ後１年間」です。
2. 製造が終了した製品については、修理に必要な部品の在庫がなくなった場合、修理ができないことがあります。
3. 一度ご使用になった製品は、原則としてお取替えすることはできません。
4. 保証期間内に取扱説明書に基づく正常な使用方法において、万一故障した場合には無償修理を行います。お客様の誤使用などによる故障においては有償修理となります。
5. 保証期間内であっても下記の項目に該当するものは有償修理となります。
   A．プラスチック部品の自然劣化による変退色。
   B．アルミフレームの自然劣化（塗装、メッキはがれ）。
   C．お客様の誤使用・保管不備・手入れ不足・改造や不当な修理による故障。
   D．可動部・タイヤの自然消耗。
   E．縫製品のやぶれ・すり切れ・ほつれなど。
   F．火災・地震・水害・落雷などの天災地変などの不可抗力、事故などによる故障。
   G．故障の原因が本製品以外に起因する場合。
   H．レンタル業などの業務用に使用している場合。
   I．保証書の必要記入項目に不備がある場合、字句を書き換えられた場合。
6. 有償修理時に要する発送費、諸経費は、修理の可否に関わらず、お客様のご負担となります。（無償修理の場合、発送費、諸経費は当社が負担いたします。）
7. 本保証は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。
   This warranty is valid only in Japan.

●お買上げ後、シリアル NO、お買上げ日、お客様のお名前、お買上げの販売店名を、ご記入してください。
●保証書のレシート（領収書）の貼付け欄にレシートをお貼りください。
●ご使用中に、万一、故障が発生した場合は、本取扱説明書をご提示ください。
●本取扱説明書は、再発行いたしません。（大切に保管してください）
●この保証書は、明示した期間、条件の下において無償修理をお約束するものです。従いまして、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
●本取扱説明書にご記入いただきました個人情報は、個人情報保護法の規定に従い、製品の保証、修理についてのみ、利用させていただきます。
●保証期間経過後の修理につきましてご不明の場合は、当社修理センターへお問合せください。

品名 / カラー	ピジョン　ビングル /
シリアル No.	ハンドル左内側に貼付のシールに記載されています。
保証期間	お買上げ日より１年間　お買上げ日　　年　　月　　日　ただし、保証規定による
お客様	お名前
	ご住所　〒
	電話　　（　　）
販売店	店名 住所　〒
	電話　　（　　）

レシート（領収書）の貼付け位置
お買上げ時のレシート（領収書）を、お貼りください。

［お願い］
製品は品質向上のため、予告なく仕様変更する場合があります。ご了承ください。

● 製品の各種お問合せ先
〒 103-8480 東京都中央区日本橋久松町 4-4
ピジョン株式会社 お客様相談室
TEL 03（5645）1235
受付時間 9 時～ 17 時（土・日・祝日を除く）

● 製品の修理、部品の購入などに関するお問合せ先
〒 300-0315 茨城県稲敷郡阿見町香澄の里 36-3
ピジョン株式会社 修理センター
TEL 029（889）5707
受付時間 9 時～ 12 時、13 時～ 16 時 30 分（土・日・祝日を除く）

17.05